

**製品名: NDUFB10 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14505**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	24kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NDUFB10
別名	NDUFB10; NADH dehydrogenase [ubiquinone] 1 beta subcomplex subunit 10; Complex I-PDSW; CI-PDSW; NADH-ubiquinone oxidoreductase PDSW subunit
遺伝子 ID	4716.0
SwissProt ID	O96000
免疫原	抗血清はヒト NDUFB10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 63-112

**背景**

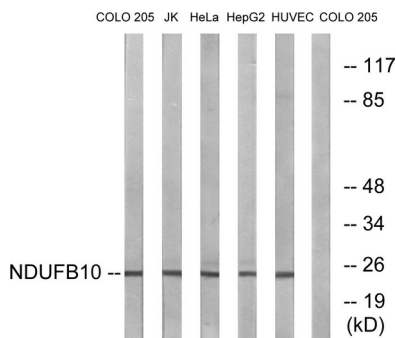
機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体 I) の補助サブユニット。触媒作用には関与しないと考えられています。

複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。、類似性：複合体I NDUFB10サブユニットファミリーに属します。、サブユニット：複合体Iは45の異なるサブユニットで構成されています。、機能：ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH脱水素酵素（複合体I）の補助サブユニット。触媒作用には関与しないと考えられています。複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。、類似性：複合体I NDUFB10サブユニットファミリーに属します。、サブユニット：複合体Iは45の異なるサブユニットで構成されています。、

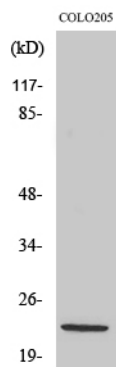
## 研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

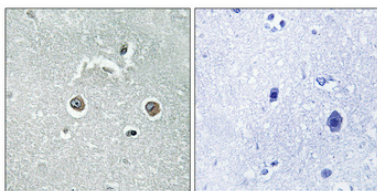
## 画像データ



COLO 細胞、Jurkat 細胞、HeLa 細胞、HepG2 細胞、HUVEC 細胞のライセートを NDUFB10 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



NDUFB10 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。